

## ベリーズ犯罪等発生状況（令和7年3月分）

### [殺傷事件・銃撃事件関連]

3月5日[銃撃事件] 午前11時30分頃、ベリーズ市北部地域のキャッスル通りで車いすの男性（40歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。銃声を聞いた近隣住民の目撃証言によると、銃声のあと2人の不審人物が現場から逃走するのを見たと報告した。警察によると、この被害男性は、過去に強盗事件や強姦容疑、複数の殺人未遂事件等を起こした人物であり、ギャング組織との関与が疑われていた。この被害男性は近年、以前に負傷した銃撃によるけがで下半身不随となり、車いす生活をしていた。

3月5日[タクシー運転手を刺殺] 午後8時頃、オレンジウォーク郡トライアルファーム村の西サンマルティ通りでタクシー運転手の男性（51歳）が刺殺される事件が発生した。警察によると死亡した運転手は、目的地で乗客の男性を降ろした直後に口論となり、乗客はナイフを取り出し運転手の喉と右手を切りつけ、逃走した。運転手は自力で西サンマルティ通りまで運転し、交差点付近で力尽き門に追突した。車両から出てきた運転手は、そのまま死亡したと見られている。その後の捜査で、キーカーカー村の男性（21歳）が殺人容疑で逮捕、起訴されている。

3月8日[銃撃事件] 午後7時頃、ベリーズ市のフェイバース・ロードで銃撃事件が発生し、この事件で男性（33歳）1人が死亡した。警察によると、被害男性が帰宅した際、自転車に乗った不審人物に銃撃され被弾した。被害男性はKHM病院へ救急搬送されたが治療中に死亡した。その後の捜査で、ベリーズ郡内に住む建築作業員の男（27歳）を殺人の容疑で逮捕、起訴した。

3月8日[銃撃事件] 午後2時45分頃、ベリーズ市のオレンジ通りで男性（44歳）が複数発被弾する銃撃事件が発生した。目撃証言によると、ベリーズ市議会の職員で交通監視員のトラビス・フラワーズ容疑者（45歳）が被害者の男性と激しく言い争っていた。突然、フラワーズ容疑者は持っていた銃を男性に向け複数回発砲し逃走した。その後フラワーズ容疑者は逮捕され警察署で拘留された。被害に遭った男性は治療され、容態は安定している。

3月9日[銃乱射事件] 深夜から早朝頃、ベリーズ市のフィリップ・ゴールドソン・ハイウェイ沿いにあるタイタニック・バーにおいて、銃乱射事件が発生した。警察によると、この事件で男性3人が死亡し、また、負傷しただけが人を病院へ搬送していた運転手がハンドル操作を誤りKHM病院の入口へ追突し、重傷を負った。犠牲者の中にギャング組織の構成員がいたため、この事件はギャング組織間の抗争だったと見られている。

3月9日【銃撃事件】 同日午後、ベリーズ市南部地域のアーリントン・ドライブ付近において銃撃事件が発生し、男性1人が死亡した。警察によると、ギャング組織間での抗争によるもので、また被害に遭った男性ももとの標的ではなかったとされている。警察は引き続き、事件の詳細について捜査を続けている。

3月16日【銃撃事件】 午後7時頃、トレド郡プンタゴルダ町の墓地で銃撃事件が発生し、男性（27歳）が死亡した。警察によると、被害男性は友人2人と墓地の近くでお酒を飲んでいたところ、銃を所持した不審人物に突然銃撃された。容疑者の1人は逮捕されたが、別の容疑者は依然として行方がわかっておらず、警察による捜査が続いている。

3月29日【銃撃事件】 午後8時30分頃、ベリーズ市のエレクトリック通りにある自動車工場付近で銃撃事件が発生し、男性（34歳）1人が死亡した。警察は、銃声を聞いた近隣の住民による通報で現場へ急行した。到着した警察官は、自動車工場の裏で倒れている被害者を発見しKHM病院へ搬送したが、搬送先で死亡が確認された。監視カメラの映像によると襲撃犯はヒスパニック系の男性で、依然逃走中とのこと。警察による捜査が続いている。

## 【強盗事件・窃盗事件関連】

3月1日【強盗事件】 正午頃、カヨ郡スパニッシュルックアウト村のライマーズ・フィールド・ミル（ペット用品店）で強盗事件が発生した。警察によると、武装した覆面の男2人組が店内に入り客と従業員を銃で脅した。強盗犯らは、店のレジから売上金数千ベリーズドルと店内にいた客からBZ\$1,500（約11万円）相当の金のネックレスの他、現金の入った財布やスマートフォン等の貴重品を奪って逃走した。監視カメラの映像から容疑者の1人を特定し拘束したが、残り1人の行方がわかっていない。警察は引き続き捜査を行っている。

3月3日【アイスクリーム販売車の襲撃事件】 同日早朝、ベリーズ郡ジョージ・プライス・ハイウェイ上でウェスタン・デイリーズのアイスクリーム販売車両が襲撃される事件が発生した。警察によると、3人の男らが購入するふりをして販売車両を路肩に停車させ、運転手と販売員を銃で脅迫し、BZ\$4,737（約33万円）の現金と販売員のiPhoneを奪い、ベリーズシティ方面へ逃走した。その後、警察は検問所で襲撃に関与した疑いのある容疑者を全員拘束した。また、拘束された容疑者が所持していた携帯電話の通話記録に、襲撃計画について販売車両の運転手との会話が残っており、この運転手が事件に関与した可能性があるとして逮捕された。

3月3日[**小学校への侵入窃盗事件**] 午後3時30分～翌午前8時頃にかけて、ベリーズ郡レディビル村の小学校が侵入窃盗の被害に遭う事件が発生した。警察によると、住所不定の建設作業員の男(27歳)が同じ日に2回も同校へ侵入し、校内の備品を窃盗した。1回目の窃盗では、BZ\$99(約7千円)相当のBluetoothスピーカーの他、清掃用品等の備品を盗んだ。同日2回目の窃盗では、BZ\$90(約6千円)相当の扇風機、BZ\$70(約5千円)相当の壁掛け扇風機の他、ワイヤー製の延長コード、清掃用品、ブランドTシャツ等が盗まれた。翌日出勤した女性教師が、校内が荒らされているのに気がつき警察へ通報した。その後、警察の捜査で付近に潜伏していた容疑者男性を発見し、逮捕起訴された。

3月7日[**建設会社への武装強盗**] 午前9時頃、ベリーズ郡サンペドロ町の建設会社において、強盗事件が発生した。警察によると、同社の会計担当者が事務作業をしていたところ、銃を所持した2人組の男らが入ってきた。容疑者の1人が銃で貴重品を要求し、もう1人の容疑者は机の引き出し等を物色した。この容疑者らは、合計でBZ\$4,535(約3万2千8百円)の現金や貴重品を盗み、逃走した。通報を受けた警察はその後、町内を徹底的に捜査し、ベリーズ市に住む10代の少年を逮捕した。警察はさらに捜査を続け、サンペドロ町に住む容疑者2名を特定し、逮捕している。

3月8日[**強盗事件**] 午後2時頃、ベルモパン市のコンスティテューション・ドライブのカムフォン・レストランにおいて、強盗事件が発生した。警察によると、被害男性は同僚2名がレストラン内で商品を受け取るのを車の中で待っていた際、突然、ヘルメットを被った男に襲われ、スペイン語で「動くな、さもないと殺すぞ」と銃で脅された。被害男性は、現金はBZ\$5(約363円)しか持っていないと男に伝えると、男は車の後部座席に置いてあったBZ\$300(約2万6千円)相当のスマートフォンと被害男性が持っていたBZ\$5を奪って逃走した。

3月8日[**強盗事件**] 午後9時30分頃、カヨ郡サンタエレナ町のペレス通りにおいて、強盗事件が発生し、女性2人が被害に遭った。警察によると、被害女性らがペレス通りを歩いていると、覆面をした2人組の不審な男らが近づき、グレーの上着を着た男が銃を取り出し現金と貴重品を渡すよう脅した。もう一人の青いシャツを着た男は被害女性2人から所持していたハンドバックと宝石類を奪ったあと、男らはエドワードファン通りに待機していたタクシーに乗り逃走した。その後、タクシーは付近をパトロールしていた警察官に発見され、車内に乗っていた容疑者4名が逮捕、拘束された。警察官が車内を調べた際、実弾が装填された弾倉と9mmのけん銃と盗まれたハンドバック等を発見した。盗まれた物品の被害総額はBZ\$2,185(約1万5千8百円)と推定され、無事に被害者の元へ返還された。

## [違法薬物・違法銃器類関連]

3月3日[違法薬物の所持] 同日午前、ベリーズ郡ハッティビル村在住の男性(25歳)がベリーズシティ治安裁判所へ出廷した。事件は3月3日に発生し、フィリップ・ゴールドソン・ハイウェイをパトロールしていた警察がバイクに乗った不審男性2名(二人乗り)を発見した。バイクの運転手は、警察車両に気がつくと反対方向へ向きを変え、単独で逃走した。すぐに追跡を開始した警察車両は、オールド・エアポート・ロードのロータリーで逃走した男性を制止し、そのまま所持品検査を行ったところ、バックの中から大麻草210グラムが入った袋を発見した。この裁判で男性は、BZ\$800(約5万6千円)の罰金とBZ\$5の裁判費用の支払うよう判決が下された。罰金を支払えない場合、懲役2ヶ月間の刑が科せられる。

3月4日[クラック・コカイン所持] 午後6時30分頃、オレンジウォーク町において男性(73歳)がクラック・コカインを所持していた罪で逮捕された。警察によると、オレンジウォーク町のグラベル通りをパトロールしていた警察車両が、自転車を不審な乗り方で運転していた男を発見し、停止するよう指示した。男は警察官の停止指示を振り切り速度を上げたが、制御を失い勢いよく転倒した。その後の捜査で、男はクラック・コカイン約0.6グラム所持していたため逮捕、起訴された。

3月27日[密輸機が墜落(当館注目)] 午前3時頃、トレド郡の国境付近にて違法薬物を密輸していたとされる所属不明の航空機が墜落した。警察によると、前日の午後9時頃に所属不明機がベリーズの空域に接近する信号を捉え、国境警備隊と警察の合同チームは緊急出動した。その後、所属不明の信号はグアテマラの空域とベリーズの空域を通過し、最終的にトレド郡の国境付近に墜落し炎上した。合同チームは、焼け跡を捜査したが、搭乗者等は発見できておらず、引き続き捜査が行われている。

## [その他事件・事故関連]

3月1日[チェトゥマルでベリーズ人2名の死体を発見(当館注目)] メキシコのキンタナ・ロー州と北部ベリーズのコロザル郡との国境線に流れるリオ・ホンド川付近において、男性5人の遺体が発見され、うち2人がベリーズ人であると発表された。警察によると、死亡したのはコロザル郡内で複数の犯罪により指名手配されていた27歳と18歳の男性で、遺体には拷問の痕があり頭部には銃弾による傷が確認されている。これらの遺体には、ダンボールで作られたメッセージボードが残されており、スペイン語で「これは、みかじめ料を求める者や、麻薬売買を許可しない者全員へ向けたメッセージである。我々から盗むのをや

めろ。我々はおまえ達が誰だか知っている。」と記載されていた。警察は、これをメキシコで活動する麻薬カルテルによるものとみており、殺されたベリーズ人は何かしらの報復行為により殺害されたとみて捜査を続けている。

3月4日【**不法侵入**】 午前7時30分頃、オレンジウォーク郡サンエステバン村の住居において不法侵入事件が発生した。警察によると、自宅にいた女性が庭から物音がしたため裏口を開けると、見知らぬ男性が立っているのを見つけた。女性は、誰の許可を得て敷地内に入ったのか尋ねたところ、男は庭に転がっていた石を拾い上げ女性に向けて勢いよく投げつけた。幸い女性にけがはなく、男は投石した後、その場から逃走したが、すぐに警察によって逮捕、拘束された。

3月6日【**墓荒らし**】 午前8時頃、コロザル郡コロザル町の墓地において、麻薬カルテルに殺害されたとみられる男性が埋葬された墓から、遺体の頭部が持ち出される事件が発生した。頭部が持ち去られた遺体の男性は、メキシコの麻薬カルテルと繋がりがあった人物とみられていたが、警察はこれを否定し、男性が抱えていた人間関係のトラブルが原因とした。警察は引き続き事件解決のために捜査を続けている。

3月23日【**シュノーケリング観光客とボートの衝突死亡事故（当館注目）**】 未明、ターネフ環礁の近くで2人の息子とシュノーケリングをしていた男性（70歳）がボートに追突され死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性家族は遊泳が許可されていたダイビングゾーンでシュノーケリングをしていたところ、一隻のボートが猛スピードで接近し、被害男性と衝突した。ボートを操船していた男性は、その後警察に逮捕されている。

3月21日【**米国人女性への暴行事件（当館注目）**】 午前3時頃、ベリーズ郡サンペドロ町において、米国人女性への暴行事件が発生した。被害女性は、自身の兄と休暇でベリーズを訪れ地元のバーで飲食をしていたいたところ、地元男性と意気投合し車でドライブに出かけた。男は人里離れた場所まで車を運転し、その場で被害女性に暴行を加えた。その後、被害女性から通報を受けた警察は防犯カメラの映像から加害者を特定し、逮捕した。